

## 三次市立三次小学校 授業実践

○学年・教科 第1学年 国語科

○単元名 「じどう車ずかんをつくろう」

○本時の目標 ・クレーン車について、「しごと」と「つくり」の関係を考えながら内容を捉えることができる。

○事前の研修から

＜予想される児童のつまずき＞

- ・言葉の意味が捉えられないのではないか。
- ・文章の内容が理解できないのではないか。
- ・クレーン車が何か知らないかも。

＜イメージ化の手立て＞

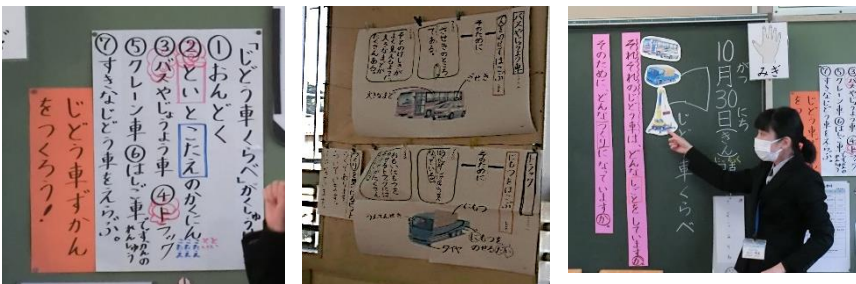
- ・音読の際には、なぞり読みをしたり、区切って読んだりする。
- ・「つくり」を表す言葉を掲示し、活用できるようにする。

＜伝え合いの手立て＞

- ・友達の動作化を見たり、自分で動いたりして、クレーン車の動きを確かめる。

○授業について

- ・「じどう車ずかんをつくる」ために、本時では、「クレーン車」について学習していきました。



今まで、どんな車について学習してきたかな？

- ・クレーン車の「しごと」と「つくり」がどこに書いてあるか、どんな風に書いてあるか、みんなで考えました。



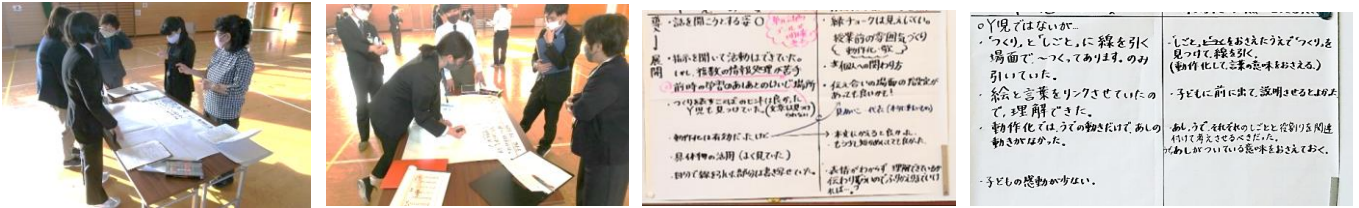
「しごと」→～するしごとをしています。  
 「つくり」→～つくってあります。  
 ～ついています。  
 などの語尾に着目して、内容を捉えました。

- ・クレーン車の仕事をみんなで体験！クレーン車になりきって、実際につり上げてみました。



「じょうぶなうでをしっかりとばす」ってどういうこと？「つり上げる」とはどんな動き？みんなでやってみました。

○授業後の協議会



児童の学びの姿を、グループごとに交流し、本時の手立てが有効であったかを協議しました。

＜有効だった点＞

- ・クレーン車の模型があったので、児童が関心をもって学習できた。
- ・単元計画や学習の軌跡が掲示してあることで、どこに向かって学んでいるかが視覚的に捉えられるようにしていた。
- ・「しごと」「つくり」で色を分けて線を引かせていたことで、文章のつくりが理解できるようにしていた。

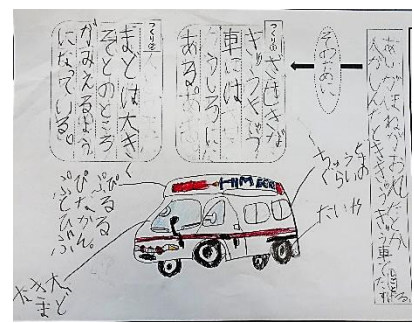
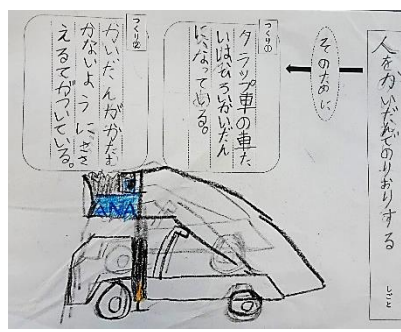
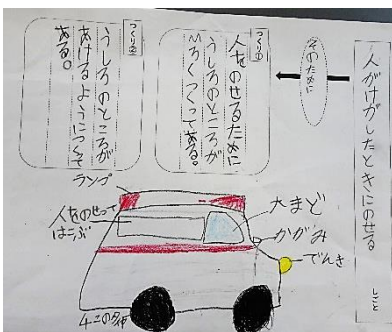
＜改善点＞

- ・動作化した後、本文に戻って言葉の意味をおさえることができたよかった。
- ・「つり上げる」動作だけではなく、「しっかりとしたあし」も動作化に取り入れたらよかった。
- ・「そのために」という言葉の意味を動作化とともに押さえる必要があった。

○単元のゴール

実行・振り返り

- ・単元の終わりに、「じどう車ずかん」を作成する時間を設定しました。
- ・それぞれの自動車が「しごと」をするために、どのような「つくり」になっているか、本から情報を読み取り、ワークシートにまとめました。



学習したことを活かして  
三次小オリジナルの  
「じどう車ずかん」を  
完成させました。